## 議事録

件名

アパレル造形科 教育編成委員会

管理No

7

- r	0001/50 8 4 1 4 00 10 00
日時	2021年8月4 14:00~16:00
場所	東京服飾専門学校(ホール) 豊島区巣鴨1-19-7
出席者	一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会 有限会社ビーシーコスチューム 代表取締役 太田 えりこ様(都合により欠席) 株式会社クレヨン営業本部人事部マネージャー 吉見様 ソーイングアサヒ株式会社 高橋 英一郎様(都合により欠席) 東京服飾専門学校 山下 節子(校長) 中島 由紀子 古賀由紀夫 リビ裕子 鷺典子 荒井光
欠 席 者	2名
概要	1.次年度における各科カリキュラム、シラバスの配布と編成経緯、変更点、留意点について 2.次年度における産学連携、職業実践体験プログラムの実施内容調整
内容	<ul> <li>● 教育課程編成委員会の学内位置付けと、教育内容向上へのお願い</li> <li>・第7回 教育編成委員会の目的と議事項目</li> <li>②職業実践講座授業の実施途中結果</li> <li>・前回指摘のあったプレゼン能力向上においては、オンライン授業活用、パワーポイント使用などにより強化中</li> <li>・自分のイメージを伝える手段としてのデザイン画(平絵)などのスキルアップを行なっている。</li> <li>:昨年度はプレゼンテーションが1日と時間がなかったため、2日としてしっかり学生にフィードバックを行う。</li> <li>:昨年度プレゼンテーション後の授業がなかったためにその後の学生の成長の確認が見られなかったため、何かその後の実感が得られると良い。</li> <li>:実際の結果として、商品化または出来ないにしても何か賞などを設ける事なども、学生達の意欲にも繋げる事が出来るのでは</li> <li>・ブランドを知ってもらうために、店舗見学、モデル着用の動画、などをとり入れた事により興味を持って参加してもらえた。</li> <li>③今後の展望や問題点、課題</li> <li>「株式会社 クレヨン 人事 吉見様」</li> <li>・企業側としては課題、面接ではトレンドについて重視しているため質問は行うものの、トレンドに関する情報は好きなもの、触りだけ聞いて終わってしまっている。</li> <li>・分析の仕方などを授業に取り入れて頂きたい。</li> </ul>

				/b- D-tr
特	記	事	項	
次	口	日	程	2021.8
課	題	事	項	
決	定	事	項	
添	付	資	料	教科内シラバス、職業実践講座関係資料
				がいに返りアテッションを主力で楽しむ、表現 9 る事を入りに息秋が湧くよりな教育が出来れば憧れのマインド、ブランドや洋服に打ち込める人が増えていければ業界も潤い変わる。  「学校側」 ・学生達にとってよりわかりやすく理解を深めるための、「手元カメラ+モニター」「タブレット」などの検討 ・授業のオンライン活用、プレゼンツールの利用 ・1年次は基礎部分を習得、2年次には各学科事でインターンシップ研修等を通して実践型を行ない、企業連携の中で業界の人材ニーズを把握しながら人材育成を行なっていく。 ・企業との連携はこれからも、学生達が実社会に出て行き実務を行なっていくにあたり、とても重要でより深めていく必要がある。 ・技術面においては反復する事により習熟度を上げていく事が重要。 ・就活にあたり、プレゼンテーション能力の強化は不可欠になってくるため必要。  ④総括 引き続き、全学科において企業と連携したインターンシップ研修を実施。 企業理解、職種理解を深め、学生一人一人が自主的、主体的に学修に取り組み業界のプロとして活躍できる知識、技術、技量を身につけられるように育成をしていく。 これからの世の中の情勢を踏まえて、学校としてデジタル化を推進、整備していく。
				<ul> <li>・プレゼンテーション能力(自己アピール)が必要。*面接の中での判断基準となる</li> <li>・就活する職種、企業に即した課題として、客観的にみて取り入れやすいテイストにあった、マナー、課題などを取り入れて頂きたい。</li> <li>・コロナ禍で沈んだ人達を元気にに出来る服作りを目指しており、働くスタッフ達が自社ブランドでファッションを全力で楽しんでいる事が重要。初心に返りファッションを全力で楽しむ、表現する事を大切に意欲が湧くような教育が出来れば</li> </ul>

作成者
中島